

保水ブロック販売・施工

＝廃ガラスリサイクル建材＝

国交省 フロンティア事業に選定

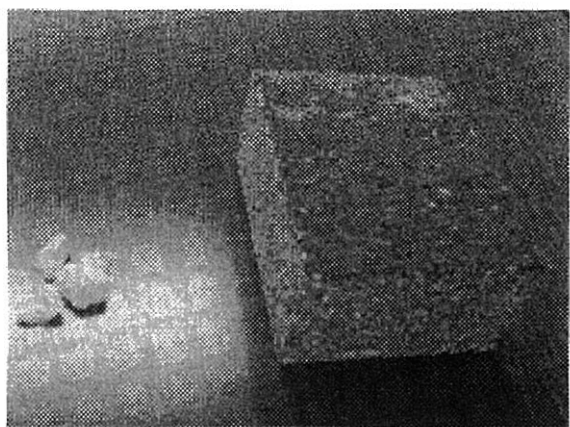
社団法人江戸川建設業協会（西野輝彦会長）のネクストー委員会が活動していた「廃ガラスリサイクル建材事業」が「建設企業の連携によるフロンティア事業」に選定され、六月一日に助成金交付が正式決定する。事業期間は交付日から平成二十四年十二月三十一日まで。

「建設企業の連携によるフロンティア事業」は、国交省が地域建設業による市場開拓や企業間の連携強化、新規雇用の確保等を図るため、必要経費を助成（一連携体当たり上限一〇〇〇万円）するもの。同協会の提案内容は、窓ガラスなどの解体工事現場からの廃ガラスを焼成する

ことによりできる多孔質軽集積材を基に、新開発した保水ブロック新建材を首都圏で販売・加工する新たな事業を立ち上げるというもの。同協会のネクストー委員会がこの環境に優

い保水ブロックに着目し、関連のアベックス㈱（廃ガラスリサイクル製造・三重県）と㈱丸和資材（保水ブロック製造・販売元・岐阜県）に連携を持ち掛けたところ、両社も現場の知見に乏しく、首都圏への展開を図るために建設業の連携先を模索していたため話が進み、協会の三社（早川建設㈱・奥山建設㈱・巴建工㈱）と二社が連携体を構成し、首都圏で販売・施工することとなった。助成金は展示会などのPR活動や新規雇用関連費などに充てる予定。

取り扱う保水ブロックの特長は、①保水方に優れている、②排水性能が高い、③水分の吸い上げ作用に優れている、④通常の製品に比べて重量が約半分である、⑤リサイクル材料を採用しているため環境に優しい等。



廃ガラスだけを再利用した製品

この環境に優れている、④通常の製品に

取り扱う保水ブロックの特長は、①保水方に優れている、②排水性能が高い、③水分の吸い上げ作用に優れている、④通常の製品に

この事業に関する問合せは早川建設㈱（電話03-5694-1721）まで。